



Cisco Unity Connection のユーザと 連絡先の概要

次の項を参照してください。

- [ユーザアカウントについて \(P.1-2\)](#)
- [連絡先について \(P.1-4\)](#)

ユーザ アカウントについて

Cisco Unity Connection には、次の 2 タイプのユーザがあります。

ボイスメールボックスを持つユーザ	<p>ボイス メッセージを送受信する必要があり、割り当てられているサービス クラスに応じて、他の Connection 機能（パーソナル着信転送ルールや Cisco Unity Inbox など）を使用できるユーザ。</p> <p>ボイスメールボックス付きで設定されたユーザ アカウントには内線番号があり、ライセンスが与えられたボイスメールユーザとしてカウントされます。</p>
ボイスメールボックスを持たないユーザ	<p>ボイス メッセージを送受信する必要はないが、システムを管理する必要があるユーザ。管理者の実行できるタスクを規定するには、定義済みの役割のいずれかにアカウントを割り当てます。</p> <p>ボイスメールボックスなしで設定されたアカウントには内線番号がなく、ライセンスが与えられたボイスメールユーザとしてカウントされません。</p>

Cisco Unity Connection のデフォルト ユーザ アカウント

Cisco Unity Connection は、次の 4 つのデフォルト ユーザ アカウントを作成します。システムを設定するときは、これらのアカウントを使用します。これらのアカウントは、ユーザ ライセンス数に含められません。

Administrator	<p>Administrator ユーザ アカウントには最高レベルの管理者特権（System Administrator 役割）が与えられます。このアカウントは Cisco Unity Connection の管理へのアクセスに使用されます。このアカウントのエイリアスとパスワードは、インストール中に指定されます。このアカウントは、ボイスメールボックスを持たないユーザとして設定されます。</p> <p> 注意 デフォルトの Administrator アカウントは削除できます。ただし、このアカウントを削除する前に必ず、System Administrator 役割を少なくとも 1 人の他のユーザに割り当ててください。</p>
Operator	<p>Operator ユーザ アカウントは、Operator コールハンドラのメッセージ受信者です。Operator コールハンドラの着信転送設定によっては、オペレータが着信に応答しない場合に、発信者がメッセージを残すことができます。Operator ユーザ アカウントのメールボックスを監視する担当者を指定するか、メッセージが別のユーザまたは同報リストに送信されるように Operator コールハンドラの設定を変更することをお勧めします。</p> <p>このアカウントを削除することはできません。</p>

Undeliverable Messages Mailbox	<p>デフォルトでは、Undeliverable Messages Mailbox ユーザ アカウントは、[配信できないメッセージ (Undeliverable Messages)] 同報リストの唯一のメンバーです。この同報リストは、送信不能メッセージの通知を受信します。このメールボックスを監視する担当者を指定するか、ユーザを [配信できないメッセージ (Undeliverable Messages)] 同報リストに追加することで、このリストに届いたメッセージを監視および (必要に応じて) 再ルーティングすることをお勧めします。</p> <p>このアカウントを削除することはできません。</p>
Unity Connection Messaging System	<p>Unity Connection Messaging System ユーザ アカウントは、ボイスメールボックスを持たないユーザとして設定されます。このアカウントは、外部の発信者からのメッセージを代理で送信します。したがって、外部の発信者からのメッセージは、Unity Connection Messaging System メールボックスから発信されたものとして識別されます。</p> <p>このアカウントを削除することはできません。</p>

連絡先について

Cisco Unity Connection には、次の 2 タイプの連絡先があります。

システム連絡先	システム連絡先は、ボイス メッセージなどの Connection 機能にアクセスできません。システム連絡先は、別のシステム上にボイスメール アカウントを持つ社内の個人を表している場合があります。また、システム連絡先は、ボイスメールボックスを必要としないが Connection のユーザと頻繁に連絡を取り合う顧客またはベンダーを表している場合もあります。
個人連絡先	個人連絡先はシステム連絡先と似ていますが、各ユーザが作成し、作成したユーザだけがアクセスできます。

連絡先の使用方法

システム上にメールボックスを持たないスタッフ、ベンダー、またはパートナーがユーザと連絡を取り合う必要がある場合は、それらの人々のシステム連絡先を作成することをお勧めします。システム連絡先は、ユーザごとに個別に設定する必要がある個人連絡先とは異なり、すべてのユーザが使用できます。また、ユーザは、システム連絡先をパーソナル着信サービスおよび発信者グループに追加したり、ボイス コマンドを使用してシステム連絡先に電話をかけたりすることができます。また、連絡先情報に変更があった場合に、1 箇所ですべてアップデートすることもできます。次の点に注意してください。

- **VPIM メッセージング**：システム連絡先を VPIM メッセージング向けに設定できます。これらのシステム連絡先は、その他の VPIM 対応ボイス メッセージ システム上のユーザを表しています。システム連絡先が VPIM ユーザを表すように設定されている場合、Connection ユーザはその他のボイス メッセージ システム上の VPIM ユーザとの間でメッセージを送受信できます。
- **ディレクトリ アクセス**：Cisco Unity Connection の管理にシステム連絡先を作成し、それらをディレクトリに表示させている場合、ユーザは Connection ディレクトリからシステム連絡先にアクセスできます。その結果、発信者はシステム連絡先の内線に転送できます。
- **名前によるダイヤル アクセス**：システム連絡先によって転送が有効化されている場合、ユーザはユーザ スピーチ認識カンパセーションを使用して、システム連絡先に迅速かつ簡単に電話をかけることができます。
- **パーソナル着信転送ルール**：ユーザは、他のユーザ、システム連絡先、および個人連絡先をパーソナル着信転送ルールおよび発信者グループに追加できます。